ジェネレーター交換の手術を受ける方へ

患者氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様

症状説明： ジェネレーターの電池寿命が近づいたため、交換手術をします。 入院期間は、6日間です。 ※ジェネレーターとはペースメーカー・ICD・CRT－D・CRT－P本体のことをいいます。	退院基準：①創部に異常がない。	特記事項：

	外来	入院当日（　/　）	手術当日（術前）（　/　）	手術当日（術後）	術後1日目（　/　）	術後2日目（　/　）	術後3日目（　/　）	退院日（　/　）
検査・ 治療・ 処置	●心電図検査 ●胸部レントゲン撮影 ●血液検査 上記の検査を行います。	●左記の検査が外来でおこなわれていない場合は入院時に行います。 ●リストバンドを付けます。	●検査着に着替えて頂きます。 下にシャツは着ないでください。 パジャマのズボンは着用できます。 ●検温・血圧測定をします。	●心電図検査と胸部レントゲン撮影をします。 ●心電図モニターをつけます。 ●検温、血圧測定をします。 帰室時 帰室後3時間（安静解除時）	●午前中に検温・血圧測定をします。 ●採血・心電図・胸部レントゲン撮影をします。 ●創部のガーゼを医師により、午前中にはずします。 ●臨床工学技士によりジェネレーターチェックを行います。（9時頃、土日祝にあたる場合は日時を変更することがあります。） ●ジェネレーターチェックの結果問題なければ、心電図モニターをはずします。	●検温・血圧測定をします。	●検温・血圧測定をします。	●検温・血圧測定をします。 ●創部の保護テープを医師によりご午前中にはずします。
薬剤		●普段飲んでいる薬があればお知らせください。 ●内服薬は看護師管理となります。	●抗凝固薬・抗血小板薬は基本的に中止となります。 ※術後、与薬することがあります。 ●植え込み側の腕に点滴をします。 手術2時間前ぐらいより開始します。 (点滴挿入時に血液検査を行います ●抗菌薬の点滴をします。	●痛みがあれば鎮痛剤をのむことができます。看護師にお知らせください。 ●安静解除まで点滴を行います。 ●指示の内服を服用します。				
安静度	●普段通りの生活ができます。	●病院内歩行ができます。		●3時間はベット上で安静にしていただきます。 その後病棟内歩行ができます。	●病棟内歩行が出来ます。			
排泄	●制限はありません。			●安静中の排泄は尿器を使用していただきます。看護師の付き添いがあれば車椅子でトイレへ行くことができます。	●制限はありません。			
清潔	●入浴ができます。	●シャワーができます。	●時計、指輪等のアクセサリー、入れ歯など、ずせるものははずしてください。 化粧マニキュアはしないでください。	●安静解除後に着替えることができます。	●下半身シャワー浴が可能です。			●退院後は入浴ができます。
食事・ 栄養管理		●生活習慣病のある患者さんはカロリー・塩分制限食になります。	●午前中手術の場合は朝食が絶食になります。 午後手術の場合は昼食が絶食になります。	●手術後、食事をとることができます。				
説明・ 指導・ 教育	●手術・同意書の説明をします。	●病棟の案内をします ●手術前後の経過について説明します。 ●薬剤師からの薬の説明があります。	●手術前にお手洗いを済ませください。		●パンフレットをお渡しします。			●看護師より退院の説明をします。 □次回外来受診日 □内服薬の説明 □手帳の説明 ●クラークより会計の説明を